

○指定期間4年度目の指定管理者の3項目評価の結果

S評価：1件 A評価：4件 B評価：5件 C評価：0件 評価対象外：0件 合計：10件

3項目評価が Sの施設								
所管局	ページ数 (資料1-4)	施設の名称	指定管理者名	3 項目 評価	利用 状況	満足 度	収支 状況	3項目評価の概要 (利用状況・利用者の満足度・収支状況)
福祉子どもみらい局	P47 ～ P54	神奈川県ライトセンター	日本赤十字社	S	A	S	S	<p>◆利用状況 前年度と比較して施設利用者数に大きな変化は見られなかったが、Web利用者数は減少した。Web利用者数の減少に関しては、サビエ図書館の利用者数の減少が要因と考えられる。 サビエ図書館の利用者数に関しては、サビエ図書館にアップロードする図書の人気等に左右される部分があるため、今後も利用者ニーズに寄り添った施設運営に期待したい。</p> <p>◆利用者の満足度 総合満足度の評価において、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合が91.9%となっており、前年度（81.9%）より大幅に増加しており、利用者の評価は高いと思われる。 しかし、前年度と比較して回答者数が減少したため、継続して回答依頼の周知を行うなど回答者数を増やすための取組を期待したい。</p> <p>◆収支状況 プールの利用停止に係る費用について、指定管理料減額の変更契約を実施した。</p>

3項目評価が Aの施設								
所管局	ページ数 (資料1-4)	施設の名称	指定管理者名	3 項目 評価	利用 状況	満足 度	収支 状況	3項目評価の概要 (利用状況・利用者の満足度・収支状況)
文化スポーツ観光局	P1 ～ P26	県民ホール (本館・神奈川芸術劇場)	(公財)神奈川芸術文化財団	A	A	S	B	<p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置づけ変更等により、県民ホール本館は、目標値523,200人に対し、利用者数は534,789人となった。一方、神奈川芸術劇場は、令和6年度公演舞台準備等の影響で、目標値188,000人に対し、利用者数は180,930人であった。2館合計では、目標値711,200人に対し、利用者数は715,719人であり、目標を達成したためA評価とした。</p> <p>◆利用者の満足度 県民ホール本館及び神奈川芸術劇場では、令和5年11月と12月の2か月間にわたり調査を実施した。前年度並みの回答数を得ることができ、2館ともに上位2段階の回答割合が100%となったため、S評価とした。 一方で、回収率は21.8%（令和4年度：29.4%）にとどまり、引き続き回収率の向上に努める必要がある。</p> <p>◆収支状況 収支比率を見ると、県民ホール本館が98.41%、神奈川芸術劇場が100.09%であった。光熱水費高騰等の影響を受け、2館を合わせた収支比率は99.33%となったため、B評価とした。</p>
文化スポーツ観光局	P27 ～ P36	神奈川近代文学館	(公財)神奈川文学振興会	A	A	S	A	<p>◆利用状況 展示室・閲覧室・会議室の利用者数は展覧会観覧者数の増により62,557人となりコロナ禍の影響を脱するものとして策定した目標の60,400人を上回ることができた。目標達成率は103.6%でA評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 10月～11月の特別展「井伏鱒二展」（入場者数8,125人）の実施時期に来館者とホームページ閲覧者を対象に満足度調査を行い、上位2段階の回答割合が98.3%だったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 空調設備等の修繕費増により維持費の大幅な支出増、物価の高騰による全体的な経費の増があったが、観覧料収入等の好調による増収をあてることで、収支比率100%となり、A評価となった。</p>

福祉子どもみらい局	P109 ～ P115	神奈川県女性自立支援施設 (旧・神奈川県女性保護施設)	(社福)神奈川県民生福祉協会	A	—	A	A	<p>◆利用状況 新規入所者は前年度から2名増、退所者は12名増。利用者数(延べ入所者数)は、前年度比108%のプラスとなった。</p> <p>◆利用者の満足度 令和5年10月に実施し、上位2段階の回答割合が89%であったため、A評価であった。回収率は100%に達しており、チラシを作成し掲示板に貼り出すとともに、利用者職員懇談会で内容説明を行った上で直接配布していることから、高い回収率となっている。</p> <p>◆収支状況 前年度を上回る緊急一時保護による収入、及び措置費単価の改定のほか、女性支援団体活動支援協力金、原油価格高騰による経費増加分の補填などがあつた。収入・支出ともに増加し、収支差額はプラスとなり、A評価となった。</p>
福祉子どもみらい局	P55 ～ P62	神奈川県聴覚障害者福祉センター	(社福)神奈川県聴覚障害者総合福祉協会	A	A	S	A	<p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底し継続的に事業に取り組んだ結果、利用者数は増加し、前年比で約118%となったため、A評価となった。 相談事業は、電話、FAX、メールによる相談に加え、SNS等を活用したオンライン相談を積極的に実施することで実績を上げており、講習会等については、引き続きオンライン開催を取り入れるなど、感染防止対策を講じながら事業継続に取り組み、利用者数の増加につながつた。</p> <p>◆利用者の満足度 10月に実施し、上位2段階の回答割合が94.0%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 利用料収入の無い施設であり、収入が指定管理料のみであるが、予算の範囲内での計画的な執行に努め、収支比率が103.12%となったため、A評価となった。</p>

3項目評価がBの施設

所管局	ページ数 (資料1-4)	施設の名称	指定管理者名	3項目評価	利用状況	満足度	収支状況	3項目評価の概要 (利用状況・利用者の満足度・収支状況)
文化スポーツ観光局	P1 ～ P26	音楽堂	(公財)神奈川県芸術文化財団	B	C	S	A	<p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置づけ変更等により、利用者は前年度より38%増加し、111,662人となった。しかし、目標の132,800人には届かず、目標達成率は84.1%となったため、C評価とした。</p> <p>◆利用者の満足度 11月と12月の2か月間にわたり調査を実施した。前年度並みの回答数を得ることができ、上位2段階の回答割合が100%となったため、S評価とした。 一方で、回収率は37.5% (令和4年度: 40.0%) にとどまり、引き続き回収率の向上に努める必要がある。</p> <p>◆収支状況 収支比率は、光熱水費高騰等の影響を受けたものの100.36%となり、A評価とした。</p>
産業労働局	P37 ～ P46	かながわ労働プラザ	(公財)神奈川県労働福祉協会	B	C	S	B	<p>◆利用状況 コロナ禍で変化した企業の会議のあり方等の影響等が続いていることなどから、利用者数の目標達成率は46.6%となり、利用状況はC評価となった。引き続き広報などを実施しているが、利用者数は前年度比94.1%と僅かに減少した。今後はリモート会議用の機器の充実や、企業へのPR強化などに取り組んでいくこととしている。</p> <p>◆利用者の満足度 9～10月と2～3月に実施し、上位2段階の回答割合が90%以上であったため、利用者の満足度はS評価となった。</p> <p>◆収支状況 利用件数の増及び県からの指定管理料の増を理由とする収入の増、光熱費価格の高騰等を理由とした支出の増があつた。収支差額は、利用件数がコロナ禍の前に比べると低い水準であつたことによりマイナスとなり、収支比率が△10.88%となったためB評価となった。なお、収支の改善に向け、経費節減を継続するとともに、利用状況の改善に取り組んでいくこととしている。</p>

健康医療局	P63 ～ P92	神奈川県総合リハビリテーションセンター	(社福)神奈川県総合リハビリテーション事業団	B	C	S	A	<p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症対策の制限緩和等により、前年度に比べて利用状況が改善した施設が多かったものの、依然として目標に達しない施設が多数あり、C評価とした。 (S評価が1区分、B評価が4区分、C評価が5区分)</p> <p>◆利用者の満足度 おおむねS評価となっているため、S評価とした。</p> <p>◆収支状況 収支比率が100.00%となったため、A評価とした。</p>
教育委員会	P93 ～ P100	足柄ふれあいの村	(株)アグサ	B	C	S	B	<p>◆利用状況 目標達成率は67.2%となりC評価判定となった。なお、設定した目標数値は令和元年度の募集時点で提案された数値である。新型コロナウイルス感染症の5類移行により影響はほぼ脱したと考えられ、利用者数は前年比107.9%と回復傾向は継続している。</p> <p>◆利用者の満足度 施設利用者にアンケート調査を実施しており、施設、スタッフ対応等項目ごとに細かく設問しているが総じて高評価であり、総合評価である「この施設をまた利用したいと思いますか」についても上位2段階の回答割合が98.4%となったため、S評価となった。一方で、アンケート配布数の増加に伴い回答率が低下しているため、退村時の声かけなど、回収率の向上に向けて取組を強化している。</p> <p>◆収支状況 利用者数は回復傾向だが、利用料収入は目標の63%であった。また物価高騰や人件費の上昇が負担となっており、運営努力により支出を抑えているものの、利用者の増にともなう支出増に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下で実施を見送っていた小規模な修繕等を行ったこともあり、収支差額は△1,485千円となり、収支比率が98.79%となったためB評価とした。</p>
教育委員会	P101 ～ P108	愛川ふれあいの村	東急コミュニティー・国際自然大学校グループ	B	C	S	B	<p>◆利用状況 目標達成率は73.0%となりC評価判定となった。なお、設定した目標数値は令和元年度の募集時点で提案された数値である。新型コロナウイルス感染症の5類移行により影響はほぼ脱したと考えられ、利用者数は前年比108.2%と回復傾向は継続している。</p> <p>◆利用者の満足度 施設利用者にアンケート調査を実施したところ、上位2段階の回答割合が98.7%であったためS評価とした。</p> <p>◆収支状況 利用者数は回復傾向だが、利用料収入は目標の約69%であった。また物価高騰や人件費の上昇が負担となっており、運営努力により支出を抑えているものの、利用者の増にともなう支出増に加え、施設修繕工事による施設の利用制限の影響等もあり、収支差額は△667千円となり、収支比率が99.45%となったためB評価とした。</p>